

三井デザインテック、産学共同プロジェクトとして 「Activity Based Working(ABW)に関する調査研究」を発表

- 仕事に合わせて最適なオフィス環境を選択することでパフォーマンスは向上
- 単純フリーアドレスはストレス等によりパフォーマンス低下を招く

三井デザインテック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渋谷忠彦）は、心理学者でワーク・エンゲイジメント[※]の専門家である北里大学 一般教育部 島津明人 教授、日本のクリエイティビティ研究の第一人者である東京大学大学院 経済学研究科 稲水伸行 准教授と共に、産学共同研究として「Activity Based Working(ABW)に関する調査研究」を行いました。三井デザインテックでは、今回の調査結果を今後のワークスタイルコンサルティング及びワークプレイス提案に活用していきます。

＜調査結果トピックス＞

- ◆ オフィス内で仕事に合わせて働く場所を選択できる ABW 型のレイアウトは「ワーク・エンゲイジメント」や「個人のパフォーマンス」などプラスの影響を及ぼしている
- ◆ 単純なフリーアドレスは、オフィス内で仕事内容に応じて適切な場所を選べないことに加えて自席が固定されていない為、ストレスが高まり固定席よりも仕事をやる上でマイナスの影響が生じる

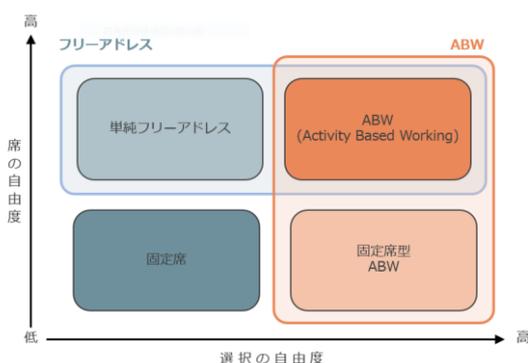
■ Activity Based Working (ABW) とは

働き方の多様化に伴い、働く時間や場所を自由に選択できる働き方が注目されており、“自分の仕事に合わせて最適なオフィス環境を選択して働く Activity Based Working (ABW)” という考え方・仕組みは国内外で拡大していくことが予想されています。

■ 調査対象

今回の調査では、選択の自由度と席の自由度に応じて4つのレイアウトに分類し、各レイアウトに対して働く人が感じる負担との相関性を4項目の観点から調査しました。

＜調査で用いた4つのレイアウト分類＞



■ 固定席

・個人に固定席が割り当てられている（島型対向式レイアウト）

■ 単純フリーアドレス

・席を選んで仕事をする事が可能であり、デスクは全て同じ形状（島型対向式レイアウトにおけるフリーアドレス）

■ 固定席型 ABW

・固定席が割り当てられているが、自席以外でも自分の仕事に適した場所を多様なスペースから選んで仕事が可能

■ ABW

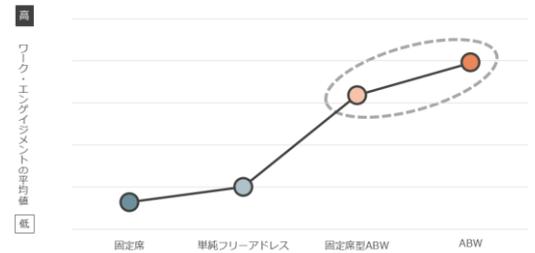
・席の割り当ては無く、多様なスペースから自分の仕事に適した場所を選んで仕事が可能

調査研究結果

■ ABW 型レイアウトは多くの項目で仕事にプラスの影響を与える

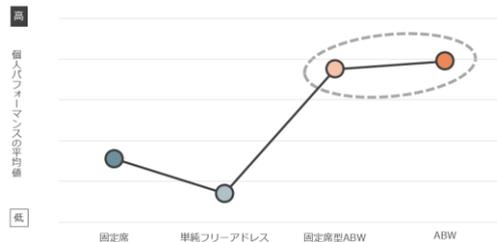
「ワーク・エンゲイジメント (図 1)」「個人のパフォーマンス (図 2)」「クリエイティビティ (図 3)」の調査項目において、**ABW**と**固定席型 ABW**は高い数値を示したことから、働く場所を選択できるオフィス環境は仕事のパフォーマンス向上に寄与していることがわかりました。

(図 1) レイアウトとワーク・エンゲイジメントの関係

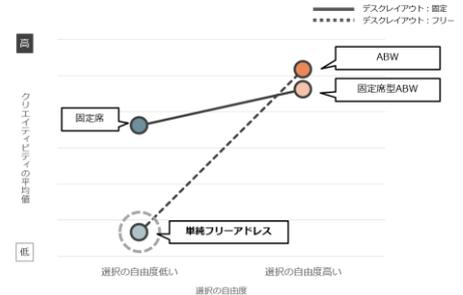


さらに、精神的なストレスがかかった際にも、**ABW**では自由に負担を軽減できる環境を選択することができるため、仕事にネガティブな影響が生じにくい、という研究結果も出ています。

(図 2) レイアウトと個人のパフォーマンスの関係



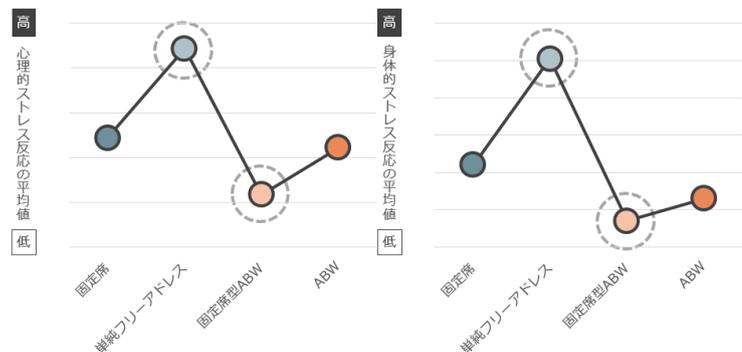
(図 3) レイアウトとクリエイティビティの関係



■ 単純フリーアドレスは固定席よりも仕事にマイナスの効果及ぼしやすい

近年、導入事例が多く見られる**単純フリーアドレス**は、実は**固定席**よりも仕事をする上でマイナスの影響が生じやすいということがわかりました。働く場の選択肢がない上に自分の席が確保されていない単純フリーアドレスでは、心理的・身体的ストレスが増加しています。

(図 4) レイアウトとストレスの関係



今回の調査では、今まで定量化されていなかった ABW の効果を他のオフィスレイアウトと比較することにより分析することができました。企業によって働き方は異なりますが、三井デザインテックでは、最適なレイアウトを考えるベースとして今回の調査を活用していきます。

※ワーク・エンゲイジメント…仕事に対する“熱意・没頭・活力”の状態を指す。ワーカーの心の健康度を示す概念の1つ

■ 調査概要

手法：インターネットアンケート調査

調査期間：2018年7月6～13日 回答者総数：3,000件

対象：東京23区内事業所規模100名以上のオフィスに勤める25-55歳の男女（会社役員・会社員）

◆「Activity Based Working(ABW)に関する調査研究」 監修者プロフィール

大川 貴史

三井デザインテック株式会社

空間に係わるマーケティング・プロモーション・コンサルティングのマネジメントの責任者

また企業の働き方コンサルティングや、ワークプレイスコンサルティングを担当。



〔刊行媒体、情報発信〕

- ・ Offiche (三井デザインテック発刊 年2回)：オフィスワーカー向けタブロイド紙
- ・ オフィストレンドレポート：オフィス、働き方トレンド情報発信
- ・ Office Worker's Data Book 1～3：オフィスワーカー調査レポート
- ・ 企業経営者調査 2016・2018：経営者層へのオフィスに関する意識調査

◆三井デザインテック株式会社とは

三井デザインテックは、主に住宅・オフィスをはじめとして、ホテル・医療・福祉・学校・賃貸マンションなど、あらゆる生活・事業に必要な施設のインフィル（内外装・設備・間取り）の創造を手がけ、お客様に「心地よい、満足できる空間」をご提供しています。

最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。<http://www.mitsui-designtec.co.jp/>

<報道に関するお問い合わせ先>

三井デザインテック株式会社 広報代理

株式会社プラップ ジャパン手川・近藤

TEL：03-4580-9107 FAX：03-4580-9133